

建築と社會 第七輯第九號目次

□ 繪 震災の回顧
新しき試みの簡易住宅

◆ 卷頭……歴史は自らを創る

關東震災火災の一週年に際して我國民の自覺を望む
日本建築協會副會頭 工學博士 片岡 安・二

「光は東方から」
震災の所産たる建築様式 工學博士 武田五一・四

復興東京の根本問題と震災の追憶
楠原祖一郎・七

國民は覺めたるか
(震災を豫想して) 法學士 大須賀 巖・三

街路の擴築と慘害の緩和
大阪市長 法學博士 關 一・三

大阪市防火計畫私案
大阪府消防課長 島崎 孝彦・三

變災と救療設備
大阪府衛生課長 上村 行彰・三

大火災の危難を伏藏する我大阪市
土井 末吉・三

◆ 南フランスハヴィラ地方の農家
伊藤 正文・四

◆ 新しき試みの簡易住宅
江村 郊邨・四

◆ くるるにるからこむ。おんぼうへ
工學博士 天沼 俊一・五

◆ 雲崗石佛寺
京都臨濟大學教授 大屋 徳城・五

◆ 都市計畫備考
青山しげき・七

◆ 光りの窓
泉 綠郎・七

◆ ノオトに書かれた遺書
別所 悌一・八

◆ 建築界最近の重要記事
三

◆ マーブ大岩石發見
六

◆ 大日本建築協會八月中記事
101

論 說

住宅 資料 漫 錄 創作 報時 介紹 報會

